

拒絶理由通知書



特許出願の番号 特願2002-050541
起案日 平成18年 8月 4日
特許庁審査官 渡辺 努 8948 5V00
特許出願人代理人 伊東 忠彦 様
適用条文 第29条第1項、第29条第2項、第37条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

提出期限

10/10 (★)

理由1

この出願は、下記の点で特許法第37条に規定する要件を満たしていない。

記

段落0019の記載や、段落0202の記載から判断するに、請求項1に示されるような、各請求項に共通する構成、すなわち、画像投影面と書き込み面が同一画面上に配することで操作性が高められ、安価となることにより課題が解決されたと考えられるが、このような構成は、既に周知のもの（例えば、出願人が従来技術として提示している文献においても、画像投影面と書き込み面が同一画面上に配するものである。）であるし、請求項1にて限定された、投影面と書き込み面を重複し、2次元にて撮像する構成についても、下記の引用文献1のように周知である。

したがって、請求項1に記載される発明と請求項2以降に記載される発明に共通する課題は、本願出願前に解決されており、本願出願時未解決の課題ではないから、両発明は特許法第37条第1号の関係を満たさない。

また、上記両発明に共通する解決しようとする課題に対応した発明特定事項は、文献を示すまでもなく本願出願前に周知の技術であるから、解決しようとする課題に対応した新規な発明特定事項である主要部が存在せず、上記両発明は、特許法第37条第2号の関係を満たさない。

さらに、上記両発明は、特許法第37条第3号、第4号、第5号に規定する他のいずれの関係も満たさない。

この出願は特許法第37条の規定に違反しているので、請求項1（ただし、請求項2については、同一文献にて拒絶理由が生じるので除く。）以外の請求項に

係る発明については新規性、進歩性等の要件についての審査を行っていない。

理由 2

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記 of 刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明であるから、特許法第 29 条第 1 項第 3 号に該当し、特許を受けることができない。また、この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記 of 刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第 29 条第 2 項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項 1, 2
- ・引用文献等 1

拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

引用文献等一覧

1. 特開平 04 - 181857 号公報

先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野 IPC H04N1/00
DB 名
- ・先行技術文献

この先行技術文献調査結果の記録は拒絶理由を構成するものではありません。

(19) Japanese Patent Office (JP)
(11) JP, H04-181857, A (43) Published on June 29, 1992
(12) Publication of Patent Applications
(51) Int.Cl.⁵ Domestic Classification Symbol/Code Number
H 04 N 1/00 H 7170-5C
B 41 J 3/407 F 7265-2C
B 43 L 1/04 7611-2C B 41 J 3/00 F

Request for Examination: Not Requested

Number of Claims: 3 (4 pages)

(54) Title of the Invention: Recording System
(21) Japanese Patent Application No. H02-310496
(22) Application Dated on November 16, 1990
(72) Inventor: Hiroshi Narita
Seiko Epson Corporation
3-5, Yamato 3-chome
Suwa-city, Nagano-ken
(71) Applicant: Seiko Epson Corporation
4-1, Nishi-shinjuku 2-chome
Shinjuku-ku, Tokyo
(74) Representative: Patent Attorney Kisaburo Suzuki and
another attorney

Specification

1. Title of the Invention

RECORDING SYSTEM

2. Claims

- (1) A recording system, characterized by comprising:
a board such as a whiteboard on which anything
can be written and erased easily;
an imaging device such as a liquid crystal
projector displaying an image on a surface of the board;
an image scanning device electrically scanning
data on the board;

a computer controlling the image scanning device and the imaging device and processing data of the image scanning device and the imaging device; and

a printing device printing the processed data from the computer.

(2) The recording system as claimed in claim 1, characterized in that not an image displayed on the board by the imaging device but only data drawn on the board is read into the computer using the image scanning device, and

the image displayed on the board by the imaging device and the data drawn on the board which data is read into the computer are synthesized, recorded and printed by the computer.

(3) The recording system as claimed in claim 1, characterized in that in consideration of a magnification ratio of the image displayed on the board by the imaging device, the magnification ratio of the image scanning device for electrically scanning the image on the entire board is adjustable automatically by the computer or manually.

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 04-181857

(43)Date of publication of application : 29.06.1992

(51)Int.Cl.

H04N 1/00
B41J 3/407
B43L 1/04

(21)Application number : 02-310496

(71)Applicant : SEIKO EPSON CORP

(22)Date of filing : 16.11.1990

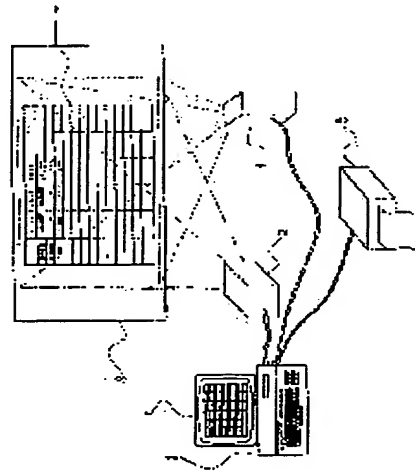
(72)Inventor : NARITA HIROSHI

(54) RECORDING SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To avoid a job of manual writing of a printed matter onto a white board or the like by combining the white board, a picture device such as a liquid crystal projector, a picture reader, a computer and a printer.

CONSTITUTION: A picture device 2 being a liquid crystal projector is used to project a data onto a board 3 with the aid of a computer 1. Then a picture reader 4 comprising a CCD video camera as a heart is used to allow the computer 1 to read a data on the board 3. The read data is processed or without modification and the data is printed out by a printer 5 such as a laser printer.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

①

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平4-181857

⑬ Int. Cl.⁵

H 04 N 1/00
B 41 J 3/407
B 43 L 1/04

識別記号

H

庁内整理番号

7170-5C

⑭ 公開 平成4年(1992)6月29日

F

7265-2C
7611-2C

B 41 J 3/00

F

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全4頁)

⑮ 発明の名称 記録システム

⑯ 特 願 平2-310496

⑰ 出 願 平2(1990)11月16日

⑱ 発 明 者 成 田 浩 士 長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコーエプソン株式
会社内

⑲ 出 願 人 セイコーエプソン株式 東京都新宿区西新宿2丁目4番1号
会社

⑳ 代 理 人 弁理士 鈴木 喜三郎 外1名

明 細 書

1. 発明の名称

記録システム

2. 特許請求の範囲

(1) ホワイトボード等の容易に書き、消すことができるボードと、該ボードの面に画像を映す液晶プロジェクター等の画像装置と、前記ボード上のデータを電気的に読み取る画像読み取り装置と、該画像読み取り装置と前記画像装置をコントロール及びそれらのデータを処理するコンピュータと、該コンピュータからのデータを印刷する印刷装置からことを特徴とする記録システム。

(2) 画像装置によりボード上に映された画像は読み込まず、ボード上に書かれたデータのみを画像読み取り装置でコンピュータに読み込み、コンピュータにより、画像装置でボード上に映された画像とコンピュータに読み込まれたボード上に書かれたデータを合成、記録、印刷することを中心とする請求項1記載の記録システム。

とする請求項1記載の記録システム。

(3) 画像装置によりボード上に映される画像の倍率を考慮し、ボード全体の画像を電気的に読み取る画像読み取り装置の倍率をコンピュータが自動またはマニュアルにより調整可能としたことを特徴とする請求項1記載の記録システム。

3. 発明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

本発明は記録システムに関し、特に会議等の席上で、事前に用意された資料等をボード上に映し、ホワイトボード等の上の資料を記録、印刷するシステムに関する。

[従来の技術]

従来、ホワイトボード等と画像読み取り装置と印刷装置を組合せ、会議等の席上で、ホワイトボード上等に書かれた資料を印刷するシステムがあった。そしてOA化が進む現在、通常、会議の資料等は印刷してある事が多いが、会議等の結果、

資料に手直しをして再配布することがよくある。また、資料そのものを会議等でまとめる様な場合、配られた資料の一部をホワイトボード上等に書き移すこともよくある。そして、会議の席上での注釈やコメント等は手書きで資料の中に個々の出席者が書き加えているのが現状であり、人により異なる資料がその都度出来ている。

〔発明が解決しようとする課題〕

このように、資料の再配布のよる資源を浪費し、OAにより活字化された資料をホワイトボード上等に手書きで書き移すことで時間と労力を浪費していた。また、会議等の結果、人により異なる資料が出来るため、情報の伝達レベルが異なるという不具合も生じていた。

〔課題を解決するための手段〕

本発明の記録システムは、ホワイトボード等の容易に書き、消すことができるボードと、該ボードの面に画像を映す液晶プロジェクター等の画像

以上のように構成された記録システムにおいて、コンピュータを使用して作成された資料を、画像装置によりボード上に映す。映された資料により、会議等を進め、ボード上に映された資料をボード上に手書きで修正、追加していく。その結果を画像読み取り装置でコンピュータに読み取り、記録する。その記録されたデータを印刷装置により、そのまま印刷する。または、画像処理をして、手書き文字を活字化し、また、フリーハンドの表や作図等をきれいに作画して、印刷する。

〔実施例〕

以下に本発明の記録システムの実施例を図面にもとづいて説明する。

本発明のプリンタの実施例の1つを第1図、第2図を用いて説明する。

コンピュータ1により、液晶プロジェクタの画像装置2でボード3上にデータを映す。そして、ボード3上のデータをCCDビデオカメラを核に構成する画像読み取り装置4でコンピュータ1に

装置と、前記ボード上のデータを電氣的に読み取る画像読み取り装置と、該画像読み取り装置と前記画像装置をコントロール及びそれらのデータを処理するコンピュータと、該コンピュータからのデータを印刷する印刷装置からなることを特徴とする。

本発明の第2の記録システムは、画像装置によりボード上に映された画像は読み込まず、ボード上に書かれたデータのみを画像読み取り装置でコンピュータに読み込み、コンピュータにより、画像装置によりボード上に映された画像とコンピュータに読み込まれたボード上に書かれたデータを合成、記録、印刷することを特徴とする。

本発明の第3の記録システムは、画像装置によりボード上に映される画像の倍率を考慮し、ボード全体の画像を電氣的に読み取る画像読み取り装置の倍率をコンピュータが自動またはマニュアルにより調整可能としたことを特徴とする。

〔作用〕

読み取る。読み取られたデータをそのまま、もしくはデータ処理をして、レーザープリンタなどの印刷装置5から印刷する。

この構成によれば、コンピュータ1により作成した資料を画像装置2でボード3上に映し、映された資料をボード3上で修正、追加していくことができる(第2図)。また、ボード3に映している元の資料を、コンピュータ1で修正、追加して、ボード3上に映すという使い方もできる。

また、画像装置2によりボード3上に映された画像は読み込まず、ボード3上に書かれたデータのみを画像読み取り装置4でコンピュータ1に読み込み、コンピュータ1により、画像装置2によりボード3上に映された画像とコンピュータ1に読み込まれたボード3上に書かれたデータを合成、記録、印刷することで、ボード3上に映されたデータとボード3上に書かれたデータの双方を処理する場合に比べ、画像処理のデータ量を格段に減らすことができ、コンピュータ1に要求される能力及び時間を節約できる。また、太陽光線等の光

等の外乱による光の明暗の著しく乱れた状態での、画像装置2によりボード3に映されたデータを画像読み取り装置4で読み取るという不安定な行為を避けることができる。

また、画像装置2によりボード3上に映される画像の倍率を考慮し、ボード3全体の画像を電気的に読み取る画像読み取り装置4の倍率をコンピュータ1が自動的に元の画像の大きさと読み込んだ元の画像部分に相当する部分の大きさが等しくなるようにすることで、ボード3上に書かれたデータのみを読み取った場合に、コンピュータ1によりボード3に映されていたデータと読み取ったデータとのサイズを合わせて、データをより容易に合成することができる。

また、マニュアルにより読み込みの倍率を調整可能とすることで、他のデスクトップ・パブリッシング(DTP)等のデータに使用するなど、利用範囲が更に広がる。

出力に関しては、画像処理をして、手書き文字を活字化し、また、フリーハンドの表や作図等を

きれいに作画して、印刷することもできる。

本実施例では、画像装置2を液晶プロジェクター、画像読み取り装置4をCCDビデオカメラとしたが、本発明はこれらにとらわれるものでなく、他の機能的にこれらに変わるもの、例えば、画像装置2をレーザーホログラフィ、画像読み取り装置4をボード3の表面の近傍を必要などきのみ上下や左右に動くCCD等による読み取り装置により構成することもできる。

[発明の効果]

以上本発明によれば、ホワイトボード等の容易に書き、消すことができるボードと、液晶プロジェクター等の画像装置と、画像読み取り装置と、コンピュータと、印刷装置を組み合わせることに、活字化された資料をホワイトボード上等に手書きで書き移すことなど、時間と労力を浪費することなどなくなる。加えて、会議中に使用する資料を修正、追加して行くことが可能であるため、会議等の結果、人により異なる資料ができ、情報

の伝達レベルが異なっていたという不具合も、会議の終了時のみに修正、追加された資料を必要な枚数のコピーを出力することで無くなり、加えて、資源の節約にもなる。

また、この記録システムによれば、DTP、映像等によるプレゼンテーションにも利用可能なため、プレゼンテーションから、資料の配布などに煩わされることなく、即会議に移行、集中した会議が可能となる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は、本発明のプリンタの実施例の1つを示す図。

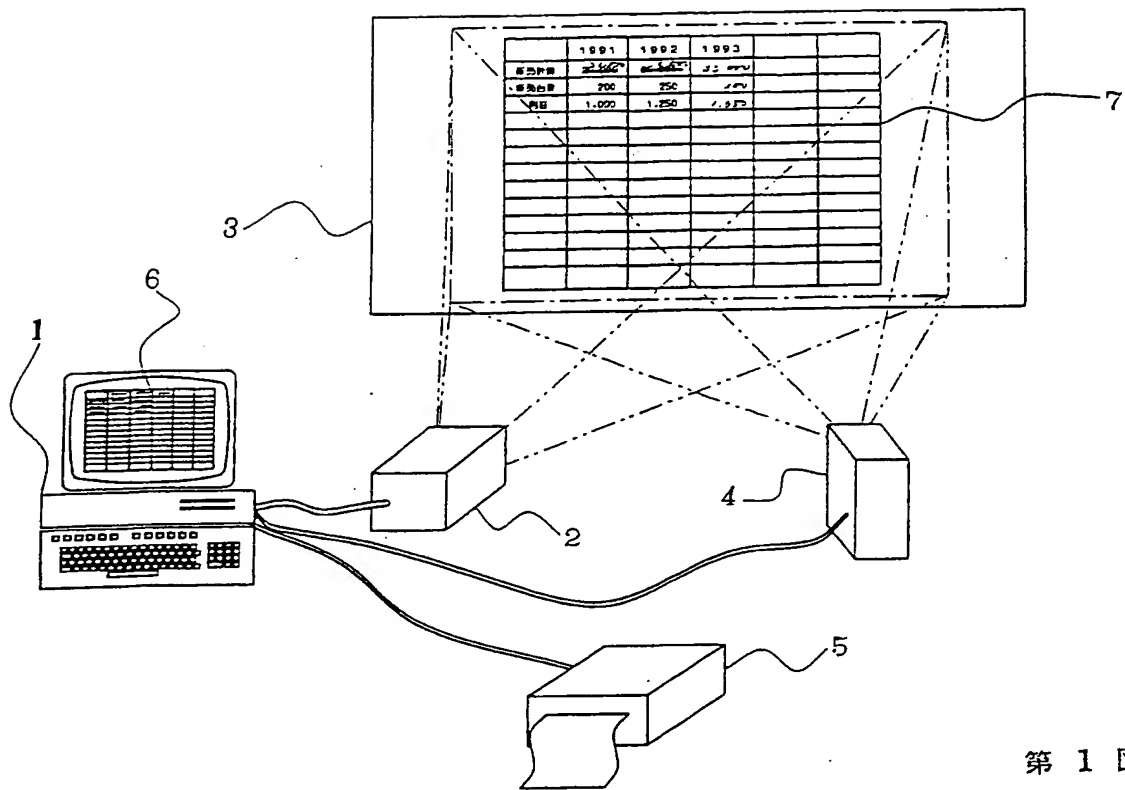
第2図は、第1図のボード上での修正、追加の状態を示す部分拡大図。

- 1 ……コンピュータ
- 2 ……画像装置
- 3 ……ボード
- 4 ……読み取り装置

- 5 ……印刷装置
- 6 ……コンピュータ上のデータ
- 7 ……画像装置からボード上に
映されたデータ
- 8 ……ボード上で修正、
追加されたデータ

以上

出願人 セイコーエプソン株式会社
代理人 弁理士 鈴木 喜三郎(他1名)



第 1 図

This is a detailed view of the table displayed in Figure 1. The table is labeled with reference numeral 7. It contains data for the years 1991, 1992, and 1993. The rows represent '販売計画' (Sales Plan), '販売台数' (Sales Volume), and '利益' (Profit). The values are: Sales Plan (22,500, 25,000, 33,000), Sales Volume (200, 250, 300), and Profit (1,000, 1,250, 1,500).

	1991	1992	1993
販売計画	22,500	25,000	33,000
販売台数	200	250	300
利益	1,000	1,250	1,500

第 2 図